

よきおとずれ

カトリック釧路教会だより
〒085-0018 釧路市黒金町 12 丁目 10
創刊号 2015 年 4 月 5 日発行



創刊号、発行！

釧路教会 川上 剛神父

正確なところはよく解らないが、釧路教会では、過去に「ニュース・レター」的な教会報を一度も出したことがないと聞いてとても驚いている。誤解のないように少し説明した方が良いかもしれない。

教会とは何だろうか。教会は何よりもまず「あなたがたはキリストの体であり、また一人一人はその部分です。（コリント書12章）と言われているように、キリストとの交わりと、み言葉によって一つに結ばれた兄弟・姉妹としての神秘体である。そして、それが具体的に「釧路教会」と言う名で呼ばれる時、そこにはその見えない神秘を表現する、見えるかたちがなければならぬ。そうでなければ教会は絵に描いた餅に過ぎない。

「初めに、宣教師来たりて、釧路に住み、高い尖塔のある教会堂を建て、人々を招き入れたり」とでも言えるだろうか。こうして釧路教会は見えるようになった。

やがて信者たちが増え、集まり、神を賛美し、信仰を語り、励まし合いながら、また、主の日に集まるために散っていった。八十年後のいま、また同じように世間の中に、社会の中に散りながら信仰の証しを生きている信者たち。この情報を提供するための媒体（メディア）として「よきおとずれ」第一号が発行された。このニュースこそが釧路教会の見える姿。

もし誰かから「釧路教会を見せてください」と言われたら、この「よきおとずれを読んでみてください」と言えるものでありたい。たとえ、今は胸を張って言えるほどのものでないとしても・・・。

“継続は力なり”、力強いみんなの協力なしにそれはあり得ない。



洗礼おめでとうございます



中村神父様 笹野佳子さん 清水由紀子さん

聖家族の日に洗礼を受けて

マリア・マルゲリット・ブルジョア 笹野 佳子

私にとりまして、2014年の最大の出来事は、暮れも押し迫った12月28日に洗礼の恵みを受けた事です。その日のミサは、今までご指導賜りました中村神父様とラザロ神父様が執り行って下さいました。代母さんは、最初からお世話になっております小野寺先生です。娘もこの日の為に帰って来ました。

当日は、とても緊張しておりましたが初めて御聖体を頂いた時は、感激致しました。全てが喜びでした。思い起こせば戸田神父様にお声をかけて頂きまして、カトリックの勉強を始めました。一時、挫折をしましたが、イエス様がいつも私の内にいて下さるのを感じられて、心強くなりまして続ける事が出来ました。

受洗をしまして、繋がりをひしひしと感じております。釧路教会の神父様や信徒の皆様にあたたかく迎え入れられ、受洗を喜んで頂きまして、深く感謝致しております。

これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

はじめまして

セシリア 清水 由紀子

私は釧路で生まれて、現在も釧路在住の清水由紀子と申します。

入信のきっかけは以前から考えごとというか悩みを抱えていたからです。誰かに相談することをためらいながら日々を過ごしていくうちに馴染み深い近所の友人が学生時代にカトリック教会へ行っていたという話をふと思い出し、不思議な力に導かれるように初めて教会へ行きました。

それから戸田神父様や中村神父様、教会の皆様と出会い、共に聖書や様々な教えなど大変有意義な勉強をさせて頂きました。その甲斐あってか徐々にわだかまりが解けていく感じがしました。

そしてまだ、記憶に新しい2014年12月28日の出来事。不安もありましたが、無事洗礼を受けることが出来ました。これもひとえに戸田神父様、中村神父様、カトリック教会の皆様、それと私の家族に感謝しております。

最後に私が感銘を受けた「仕事に愛を込める」教え、渡辺和子シスターが述懐

している「時間に愛をこめる」「仕事に愛をこめる」ことを私も忠実に行っています。私は新聞配達の仕事をしています。配達先の1軒、1軒に「お幸せに」と祈りながら配っています。

信徒会長からひとこと

パドアのアントニオ 本間 克弘

「教会共同体のために一人一役を」と言われていますが、この言葉は古くからありますので、けっして珍しいものではありません。しかし、なかなか実践するのは難しいのです。

それは「仕事があります」「健康でない」「忙しい」「私には無理」「なかなか教会に来られない」等々の理由があります。私も同様でしたが、何も分からないまま「神様のためにしなさい」との一言で今の役職に就くことになりました。

しかし、今教会に来られる方が少なくなってきた、一役を担ってくれる方も少なくなってきました。今、迷っている皆さんに勇気を出して教会に協力していただきたいと思います。



結婚しました

マリアンナ 齋藤 誓子

2月21日に、暖かな祝福とお祈りの中、鉏路カトリック教会で結婚式を挙げる事ができました。前の週には結婚を控える私のためにミサの中でお祈りもして下さいました。

思い起こしてみると、小さな頃からこうしてお祈りいただき「教会の子供」として育てられていたことに気づかされます。「聖霊の声を響かせる子に」と響子と名付けられ、生まれた時から「あなたは教会の子、教会はあなたの家なのよ」と両親に言い聞かされて育ちました。

WYDでパパ様のミサのお手伝いをするという恵みを受けた時も、教会でお祈りして下さいていたと、後に母から聞きました。青年会の活動やクリスマスの夕べを無事に行えたのも、教会という「家」と、そこに集う「家族」があったからと感じています。幼い時から成長を見守り、また、お祈りで支えてくださり、本当にありがとうございました。

鉏路へはたびたび里帰りに参りますので、これからもどうぞよろしくお願い致します。

信徒発見 150 周年記念ミサ (2015 年 3 月 17 日 於：大浦天主堂)

溝口久恵さんが信徒発見 150 周年記念巡礼に参加され、写真を投稿していただきました。これはその一部です (ミサ中は撮影禁止のためミサ前後の写真となります)



早朝からたくさんの信者さん



ごミサ前の聖堂内



祭壇のマリア像



ミサ終了後の大浦天主堂

「よきおとずれ」発行にあたって

マリア・ベルナデッタ 北尾 直美

主の平和

広報誌の発行は、4 年前に川上神父様が釧路地区に赴任されてからずっとご提案されてきたことでした。必要だとは思っていましたが、広報委員会では、それぞれ担当した仕事をす
るだけで精一杯なため、なかなか前へ進むことができないでいました。

今年、4 月に教会の統合が決まり、新川教会と黒金教会という枠をこえて一つになるため
にも広報誌を発行したいと考え、2 月から準備を始めました。踏み出してみると夢のような
スピードで、創刊号を出すことができました。

この「よきおとずれ」が 2 号、3 号で終わらないよう、皆さんとともに作りたいたと思
います。これからもご協力とお祈りをよろしくお願いします。

創刊号に原稿・写真を提供いただいた皆さん、有難うございました。神に感謝！



カトリック釧路教会 〒085-0018 釧路市黒金町 12 丁目 10

TEL 0154-22-5823

FAX0154-22-5832

教会だより 編集：広報委員会

